

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第4号 H29年11月
編集：SSH推進委員会
発行責任者：小浦 寛

関東サイエンスツアー



東京大学
(本郷にて)

9月28日(木)～29日(金)に理数科1年生を対象に関東サイエンスツアーを行いました。「第一線の研究者・技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより科学技術に対する興味・関心を高め、学ぶ意欲を育てる」ことを目的に、今年度は国立科学博物館、東京大学本郷キャンパス、東京大学駒場キャンパス、東京工業大学すずかけ台キャンパスを訪問し研修を行いました。

【 日程 】

- 1日目** 小松駅→上野駅(新幹線利用)
11:00～13:00 国立科学博物館研修
東京大学研修(4グループに分かれる)
14:00～16:00 本郷キャンパス研修(素粒子実験、電子情報、有機合成化学)
14:30～16:30 駒場キャンパス研修(生命知能システム)
20:00～22:00 小松高校OBとの懇談会
- 2日目** 9:30～11:45 東京工業大学すずかけ台キャンパス研修(2グループに分かれる)
フロンティア材料研究所、生命理工学院
12:30～13:00 博物館すずかけ台分館見学
上野駅→小松駅(新幹線利用)

この関東サイエンスツアーでは事前に研修先について調べるなどの予備学習を行ってきました。そのため、生徒たちはどの研修の際にも興味と目的をもって臨み、積極的に質問して新たな発見をすることができました。どの研究室、研究所でも最先端の科学技術と知識を紹介していただき、生徒たちにとって非常に大きな刺激となりました。

夜の本校OBの社会人や大学生の先輩たちとの懇談会では、充実した高校生活を送るための心構えや大学・社会人生活についての話を聞くことができ、生徒たちにとってはとても充実した時間となりました。また、博物館すずかけ台分館を見学したときには、昨年ノーベル医学・生理学賞を受賞した大隅良典教授と偶然遭遇し、生徒たちも引率教諭もみな大感激でした。



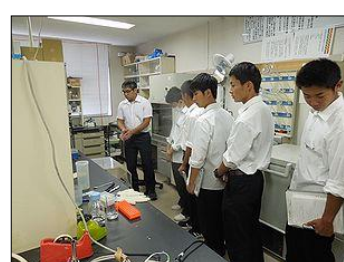
生命知能システム
(東京大学)



有機合成化学
(東京大学)



フロンティア材料研究所
(東京工業大学)



生命理工学院
(東京工業大学)

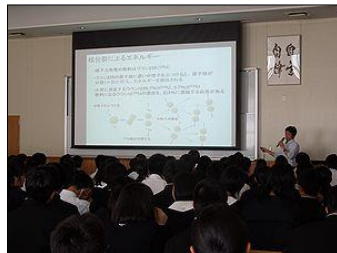
「探究基礎」開講式～ディベート大会

「探究基礎」は1年普通科の生徒全員が対象の学校設定科目で、4月～9月にはディベートを行いました。

まず、4月27日（木）の開講式では、「ディベート」についての説明のあと、1年の担任・副担任の先生方による模擬ディベートが行われました。5月11日（木）、25日（木）には今回のディベートのテーマについて事前に予備知識をつけるために（「①脳死は人の死であるか否か」「②原発を廃止すべきか否か」「③遺伝子組換え食品に賛成か否か」「④死刑制度に賛成か否か」）に関する全体講義を行いました。6月～7月にはテーマごとにチームに分かれて調べ学習を行い、証拠の収集、立論の作成、質問の想定、反駁の準備をしました。9月には肯定側、否定側に分かれてのクラス内マッチを行いました。そして9月27日（水）にはディベートの集大成として普通科全員でのクラス対抗の「ディベート大会」を行いました。



開講式



論題レクチャー（原発）



クラス内マッチ



ディベート大会

「課題探究Ⅱ」～第2回中間報告会～

9月20日（水）に、課題探究Ⅱ第2回中間報告会（こまつ研究サポートプログラムによる報告会）が行われました。この報告会には北陸先端科学技術大学院大学から國藤進先生、上原隆平先生、金沢大学から佐藤政行先生、小松崎俊彦先生、川上裕先生、遠藤徳孝先生、金沢工業大学から草野英二先生、石川県立大学から中谷内修先生、馬場保徳先生、富山大学から加賀谷重浩先生に参加していただきました。生徒たちは、前回の報告会での指導・助言をもとにこれまで研究を進めてきましたが、その過程で生じた疑問や不安に思ったことなどを今回の報告会では詳しく教えていただきました。さらにこれからの研究の進め方などについて踏み込んだアドバイスをいただき、とても有意義な時間となりました。



数学



生物



地学



物理

いしかわ高校科学グランプリ（「科学の甲子園」石川県代表選考会）

10月21日（土）に石川県地場産業振興センターで「いしかわ高校科学グランプリ」が行われました。本校からは理数科の2年生2チーム、1年生2チーム、理数科1年と普通科1年の混合1チームが参加しました。グランプリは午前に筆記競技、午後には実技競技（実験系）、実技競技（総合系）が行われました。今回は残念ながら「科学の甲子園」の石川県代表にはなれませんでした。また来年に期待したいです。